

「共に創った」この一年

生徒会長

私は選挙で立候補した時から「共に創る小針中」という目標を掲げて活動してきました。この一年間では、朝会や行事など様々なことを協力して行いました。

特に私の心に残った涼秋祭では、行事を行うリーダーとしての責任をもち、道具の準備や全校生徒への連絡などを行うことができました。そして全員で協力し、行事を成功させることができました。このような行事の運営を通じて、やりがいを非常に大きく感じる事ができた一年でした。

最初は慣れないことばかりで、生徒会本部の仲間にも助けられたこともたくさんありました。生徒会長という役職は決して簡単ではなかったけれど、挑戦して良かったと感じています。これからを担う皆さんには、私たちの想い受け継ぎ、これからの生徒の想いをつないでいって欲しいです。最後に、これまで一緒に頑張ってきてくれた皆さん、本当にありがとうございました！これからの小針中を応援しています！

2年間の生徒会活動

副生徒会長

「行事の運営がしたい」と思い、生徒会本部に入ってから2年が経ちました。先輩の背中を追うのに必死だった昨年とは異なり、自分が先輩という立場になり、昨年以上に責任を持って、さまざまな活動に取り組むことができました。

2年間を通して、自分の考えをうまく形にできなかったり、活動がうまく進まなかったりと大変だったことは沢山ありました。しかし、自信を持って人前に立つことができるようになったり、周りをみて自分から行動できるようになったり、本部に入ったからこそ、自分自身をさらに成長させることができた実感しています。

生徒会活動は忙しかったですが、さまざまな活動に携わることができて本当に楽しかったです。そして、この素晴らしい経験をさせていただいたこと、本当に感謝しています。本部の皆さん、先生方、2年間本当にありがとうございました。

夢のような一年

副生徒会長

書記局員としての経験や先輩方・先生方から学んだことを活かしてさらに大きなことに挑戦したいと思い生徒会選挙に立候補しました。そして、さまざまな人の力を借りて当選したのが一年以上前と思うと副会長として過ごした時間はまるで夢のようにあっという間でした。

生徒会本部の全員が学校をよりよくしたいという姿や、真剣に取り組みつつも時にはユーモアも忘れない姿を見て自分は仲間に恵まれたなと実感しました。それと同時に自分は誰かが敷いてくれたレールをただ走っているような感覚になり、自分の未熟さを痛感しました。しかしその想いは自分自身を成長させる原動力になりました。

そんな機会を与えてくれた三役、書記局員、先生方には感謝しかありません。改めて「自分が困った時、楽しい時、緊張する時全てに生徒会の誰かがいたんだな」と強く思います。そして何より本部の指示やお願いに柔軟に対応してくれた全校生徒の皆さんに心から感謝しています。

経験値

書記局長・代議員長

先輩方に憧れて選挙に立候補してから約1年が経ちました。活動を振り返ると、慣れないことも多く大変でしたが楽しんで仕事に取り組み続けた1年間でした。印象に残っている活動は学級討議、生徒総会です。この2つは代議員会が主となって運営を行う初めての大きな仕事で、自分の責任の大きさを感しました。うまく説明できず代議委員の皆さんや代議部に迷惑をかけた、私自身落ち込んだりしました。ですが、顧問の宇ノ井先生や猪爪先生、代議部の仲間のおかげでそれぞれ充実した内容の学級討議、生徒総会にすることができました。

この代議員長という立場の1年間で助けてもらえるありがたさや準備の大切さを学ぶことができました。この貴重な経験を今後の生活に活かして、人の役に立てる人間になりたいです。来年度の代議員会も積極的により良い委員会になるよう、来年度の生徒会メンバーや代議員会に、もっと頑張りたいと思います。頑張ってください。